

## 練習問題7（消費関数と投資関数）

## 問題1

所得	100	200	300	400	500	600
消費	160	220	280	340	400	460

(1) 消費が所得の1次関数で表されるとすると、どのような式になるか。所得をY、消費をCとして式で表わせ。

(2) 所得が500のとき、平均消費性向、限界消費性向はそれぞれいくらになるか。

## 問題2

ある企業がA～Eの設備について投資計画を考える。それぞれの設備の価格、収益は次表に示されているが、利率が7%の時、この企業はどの設備に対して投資を実行するのが妥当か。

設備	A	B	C	D	E
設備の価格	30	50	70	90	110
収益	33	53	74	97	117

- 1 AとB
- 2 AとD
- 3 BとC
- 4 CとE
- 5 DとE

【地方上級・平成九年度】

## 問題 3

表は、ある企業の投資プロジェクト案である。投資家はケインズの投資決定論に基づき、これらのプロジェクト案を実施するかどうか判断する場合、次の記述のうち妥当なものはどれか。ただし、利率は 10% とする。

プロジェクト案	設備の利用期間	設備の費用	毎期の予想収益
A案	2年	1,200億円	605億円
B案	3年	3,200億円	1,331億円
C案	2年	8,500億円	4,840億円

- 1 A案は、B案およびC案いずれも実施する。
- 2 A案およびB案は実施し、C案は実施しない。
- 3 B案は実施し、A案およびC案は実施しない。
- 4 B案およびC案は実施し、A案は実施しない。
- 5 C案は実施し、A案およびB案は実施しない。

【国税専門官・平成4年度】

## 問題 4

資本の限界効率に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。

- 1 投資は、資本の限界効率が利率を下回る時に行われる。
- 2 投資が多くなされるほど、資本の限界効率は上がっていく。
- 3 企業家の予想が楽観的になると、資本の限界効率関数の傾きは緩やかになる。
- 4 企業家の予想が悲観的になると、資本の限界効率関数は下方ヘシフトする。
- 5 資本の限界効率関数は、企業家の予想によっては変化しない。

【市役所・平成11年度】